

# GINGA REPORT 401

No. 109  
2024.6

そらんぼ四日市 検索

発行日：令和6年6月1日  
編集&発行：四日市市立博物館・プラネタリウム  
電話：059-355-2700

## 6月の星空

星図：ステラナビゲータ11/(株)アストロアーツ

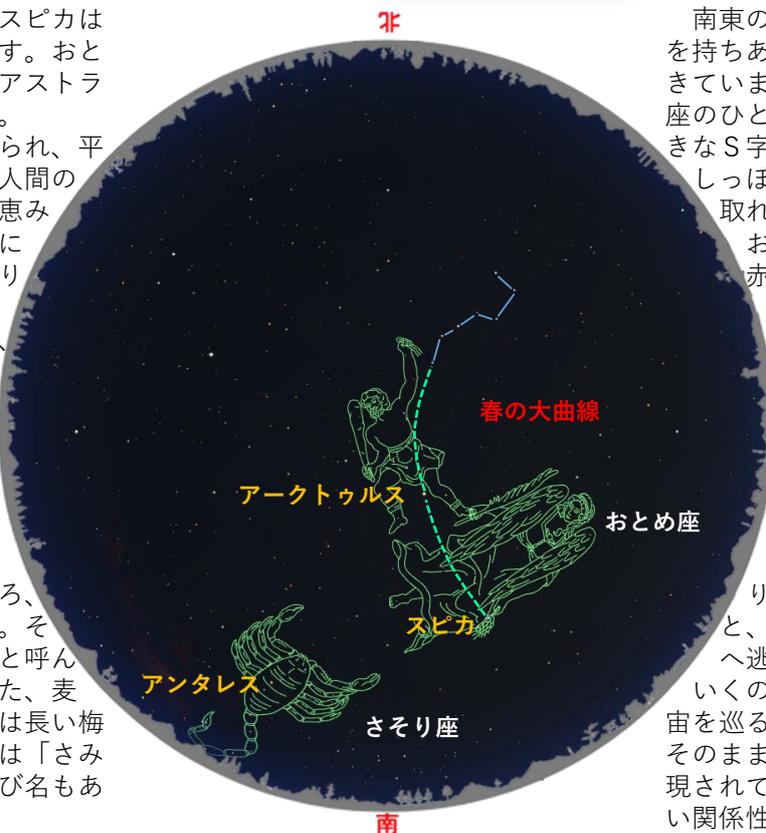
### 正義の女神（アストライア）

春の大曲線上にある一等星スピカはおとめ座で最も明るい恒星です。おとめ座は、一説では正義の女神アストライアの姿だと言われています。

昔、世界は秩序も正義も守られ、平和な世の中でした。しかし、人間の数はどんどん増して、自然の恵みも十分ではなくなり、しだいに各地で争いが起こるようになります。人間をみかざった女神たちが天に帰ってしまうなか、アストライアだけは、地上に残って正義を守るために努力しました。そんな女神を

たたえ、神様によって天にあげられたのがおとめ座です。春の大曲線のもう一つの星アークトゥルスは6月、麦の穂が黄金色に輝く刈入れのころ、天頂近くで黄金色に輝きます。そのため、日本では「むぎ星」と呼んでいた地域がありました。また、麦の刈入れと前後して、日本では長い梅雨がやってきます。梅雨時には「さみだれ星」という風情のある呼び名もあるそうですよ。

6月15日21時の星図



### さそり座とオリオン座の関係

南東の空低くからは、大きなはさみを持ちあげながら、さそり座が昇ってきています。さそり座は、黄道12星座のひとつとして有名な星座です。大きなS字型のカーブを描きながら、しっぽに毒針まで備えたその均整の取れた形は、非常に印象的です。

おまけに、さそりの心臓部には赤い一等星のアンタレスがあり、さそり座をさらに印象深いものにしています。サマーのSと言っても過言ではない、夏の代表さそり座の全景が見えぬまで、あと少しです。

ギリシャ神話では勇者オリオンを刺し殺したのが、このさそりです。そのため、オリオンはさそりをおそれ、さそりが昇ってくるこの季節になると、オリオンはこそこそと西の空へ逃げて沈んでいくのだそうです。宙を巡る星の様子が、そのまま神話にも表現されていて、面白い関係性ですね。



## 天文トピック

### 双眼鏡で夜空を見てみよう



暖かい夜風に誘われて、夜空を眺めるだけでも楽しいですが、そこに双眼鏡があると、星空の楽しさは何倍にも広がります。肉眼だけではわからない星空の美しさ、双眼鏡で見る星の光に大きく感動すること間違いありません。例えば…

- ★一つ一つの星の光が鋭くて、瞬きが美しい
- ★星の色がよりハッキリとわかるようになってきれい
- ★三日月のときに欠けた部分がうっすら見える「地球照」が神秘的
- ★半月の欠け際に見えるクレーターがはっきりなどなど。また、倍率3倍程度の低い双眼鏡なら、視野も広く星座も探しやすいです。手近なものから試してみませんか。

## 夏番組のお知らせ

©日本橋丸玉屋

### 夜間特別番組で花火を見よう

四日市での花火大会がなくなり、寂しい方もいらっしゃるかもしれませんが、今年は四日市のプラネタリウムで毎週土曜日、花火を楽しんでいただくことができます。それが、夜間特別番組「ハナビリウム」(再投映)です。花火会社が企画した番組で、360度全方位から打ちあがる5,000発の花火を、まるで星空を見上げるように鑑賞できます。併せて、花火の迫力ある音も、当館の重低音スピーカーなら再現できますので、前回見られなかった方もぜひ、お越しください。



## 博物館主催 スターウォッチング

### 博物館主催さらら号観望会

日時：6月22日（土）20:00～21:30  
場所：三滝公園  
内容：アークトゥルスを見よう



- ※申し込み不要、参加無料、天候不良時は中止。
- ※参加者が多い場合は受付を制限することがあります。
- ※天候不良等による実施判断は、開始時刻の3時間前に当館ホームページ及びFacebookで発信します。

## 編集後記

今年の夏至は6月21日です。夜の時間が短い6月は梅雨の期間とも重なって、星空観察には不向きではありますが、少しずつ上がってくる夏の天の川を想像しながら夜空を眺めたいと思います。

筆者は、冷たい麦茶をごくごく飲みながら、ウッドデッキから見上げるのが好きです。夜も暖くなるこの季節、楽しく夏の夜空を待ってみませんか。

## 6月の月

6日  新月

14日  上弦

22日  満月

29日  下弦